

カンボジアにおける保健教員養成事業  
2024 年中間報告 (2024 年 9 月 24 日作成)

2020 年 1 月より日本財団の助成により「カンボジアの全ての子どもたちのための学校保健サービス創生事業」を開始した。2023 年 4 月 26 日から 9 月末までに本プロジェクトで行った業務を報告する。

2024 年度に計画した主な内容は以下の 11 点である。

1. 小学校課程用の教科書の改訂作業と学校保健研修の継続、授業研究の実施
2. 学校保健コース以外の中学校課程における学校保健の教科書作成
3. 中学校課程の 1 年目に予定している 11 科目の講義用の教科書（日本語版）の作成
4. 学校保健の導入の効果に対する評価研究
5. 本事業で得た学生調査等の成果に関する学術的発信
6. 日本における学校保健研修
7. 東京学芸大学、カンボジア TEC 間で学生の短期交流（スタディツアー）
8. HP や Newsletter による情報発信
9. 国際学校保健セミナーの実施
10. KIZUNA の学校保健事業のサポート
11. TEC の学校保健に関わる専門的な見地からのサポート

1. 小学校課程用の教科書の改訂作業と学校保健研修の継続、授業研究の実施

第 17 回（5 月 27 日から 5 月 30 日）と第 18 回（7 月 8 日から 7 月 11 日）の学校保健研修を行った。

まず、シェムリアップの Tara Angkor Hotel で講義と演習を行った第 17 回研修の様子を報告する。

1 日目は、午前中、朝倉から学校保健コース以外の一般の中学校課程の学生向けに作成している教科書のポイントを説明した（資料 1）。午後は、Saomoline 先生が Trial lesson を行った。

1 日目 Saomoline 先生による First Aid の Trial lesson



Trial lesson のロールプレイ



また、PTEC と BTEC の教官が附属学校で行った身体測定の結果の報告があり、全員でシェアした。

2 日目に教科書の改訂に向けて問題点を抽出する作業を行った。これを基に今後改訂作業を進める。

2 日目の午後、Bunmakara 先生が生活習慣と健康の Trial lesson を行った。また、「よい教員の資質」カードゲームを試作しており、クメール語に翻訳して、カードゲームを試行した。カードゲームのクメール語翻訳は、PTEC のクメール語専門の教官と SHCC の教官 2 名で協議して、ブラッシュアップしている。

2日目の午前、小学校課程の教科書改訂のため、問題点をリストアップしている様子



2日目 Bunmakara 先生の Trial lesson の様子



2日目の「よい教員の資質」カードゲームの様子



3日目に Prey Chrouk Primary School で Khim 先生を中心に学校安全の授業を小学生に行った。その後、授業に対する検討会も実施した。

### 3日目の Prey Chrouk Primary School での安全教育の授業の様子



昨年度より保健教育の授業力を向上させるため、研究授業（レッスンスタディ）を取り入れた研修を行っている。第 18 回学校保健研修は、研究授業を中心とした研修である。7月9日はプノンペン教員養成大学（PTEC）で研究授業を行った。授業者は Dr. San Sreyry で Chapter 7 Infectious Disease をとりあげた。7月10日はバタンバン教員養成大学（BTEC）で行い、授業者は Ms. Sar Somnea で Chapter 8: Eye and dental health を取り上げた。

### PTEC での Dr. San Sreyry の研究授業の様子と、その後の協議会の様子



Dr. San Sreyry の授業のビデオ記録は以下のフォルダーにある。

<https://drive.google.com/drive/folders/1xloSL7ssAG8UA8PfJZ5PRlhC-RD579oV>

BTEC の Ms. Sar Somnea の研究授業の様子とその後の協議会の様子



Ms. Sar Somnea の授業のビデオ記録は以下のフォルダーにある。

<https://drive.google.com/drive/folders/1qI6AftomnJ8dsk40rQaOO2WUskve89B>

また、それぞれの授業のリフレクションと研修全体の振り返りの要点は、以下のフォルダーにある。

[https://drive.google.com/drive/folders/1QEmorip\\_CkdyDcZjOCugZ0t\\_aUIWKaeY](https://drive.google.com/drive/folders/1QEmorip_CkdyDcZjOCugZ0t_aUIWKaeY)

## 2. 学校保健コース以外の中学校課程における学校保健の教科書作成

中学校課程で学校保健コース以外の学生に対しても健康教育の講義を開設してほしいと TEC から要望があった。協議の結果、1 単位分の授業を開設することで合意し、その教科書の作成に取り組んだ。

1 単位分であるため、小学校課程の教科書を基に約半分のトピックスを選定し、中学校の生徒の健康課題に適した内容の章立てを工夫した。タイトルは以下のとおりである。各レッスンを 2 回の授業（50 分×2 回）で実施できるようにコンパクトに作成した。

Lesson 1: What is health ? What is school health ? (1 章)

Lesson 2: How does your body work ? (2 章)

Lesson 3: Growth and development in childhood and adolescence (3 章)

Lesson 4: Sexual development and reproductive health in adolescence (4 章)

Lesson 5: Infectious disease and biological defense mechanisms (5 章)

Lesson 6: Lifestyle and health (6 章)

Lesson 7: Mental health (7 章)

Lesson 8: School safety and safety education (8 章)

8 章の英語版を完成させ、クメール語翻訳を行い、TEC の教官などに翻訳の確認作業を依頼している。表紙は、social compass に依頼済みで、11 月には暫定版の教科書を印刷・製本する予定である。タイトルは、Essentials of School Health For All とした。

なお、6 章から 8 章の教官へのポイントの解説は、日本研修で行った（資料 2）。

各章の英語版は、以下のフォルダーにある。

<https://drive.google.com/drive/folders/1tXZZpDrWCV27VsLz5NwyyFkAzIIMKLhx>

## 3. 中学校課程の 1 年目に予定している 11 科目の講義用の教科書（日本語版）の作成

中学校課程の学校保健コースの単位数が 30 単位から 25 単位に減少したため、5 科目の削減を行った。現在の

予定では、1年生前期の科目は、Human Anatomy and Physiology I、School Health、Sexual health & Sexuality Education I、Child Health、Health Science、School Safety の6科目（6単位）である。後期は、Human Anatomy and Physiology II、Symbiosis with microorganisms and biological defense systems、Health and Nutrition、Hygiene and Public Health I、Child Illness の5科目（5単位）である。

現在までに、Child Health、Health Science、School Safety、Symbiosis with microorganisms and biological defense systems の日本語のドラフトが書き上げられており、確認と編集作業を行っている。

教科書作成のために、これまで1か月から2か月に1度の頻度で、打ち合わせ会議を設けて進捗を確認し、内容を協議している。

執筆担当者は、青柳直子（茨城大学）、籠谷恵（杏林大学）、齋藤千景（埼玉大学）、出口奈緒子（静岡大学）、中村禎子（十文字学園女子大学）、物部博文（横浜国立大学）、朝倉隆司（東京学芸大学）である。

#### 4. 学校保健の導入の効果に対する評価研究

2023年の学生調査の分析は、進行中である。さらに、PTEC、BTECともに小学校課程4期生が入学しており、それぞれ147名、153名で計300名の新入生がいる。2024年の学校保健の授業は、後期に実施される予定なので、前後の比較調査の実施を企画している。これまでは4年生後期の授業だったが、今年から1年生後期に変更になったため、1年生に対する評価が必要となった。同様に、教官インタビューの分析も進行中である。

TECに学校保健の授業を導入した効果を評価するために、1期生、2期生の卒業生フォローアップ調査をTECと協力して実施している。

2024年9月18日現在の回答者は、PTECは283人（1期生131人、2期生152人）、BTECは233人（1期生127人、2期生106人）である。このうち、勤務している小学校で保健の授業を実施したことがある者の割合は、PTECの1期生27.5%、2期生21.7%、BTECの1期生36.2%、2期生30.2%であった。PTECの卒業生（24.4%）に比べてBTECの卒業生（33.5%）のほうが、保健の授業を実施した経験者の割合が大きい。1期生（31.8%）のほうが2期生（25.2%）に比べて、勤務年数の長さもあるのだろうが、保健の授業を行った経験者の割合がやや大きい。

また、勤務している小学校に保健室がある者の割合は、PTECの1期生22.9%、2期生20.4%、BTEC1期生26.8%、2期生19.8%であった。平均22.5%で、2割程度の学校に保健室が設置されていると推測される。

さらに、授業を行っている者が回答した受益者である小学生の推計は、8,303人である。

なぜ大学間で差があるのか、どの程度保健の授業実施に大学での講義が効果をもたらしているのか、卒業生はどのような役割を学校保健での役割を果たしているかなど、さらに詳しい現状を調査する必要がある。7割の卒業生は保健の授業を行っていないため、その理由の解明のための調査とフォローアップ研修も課題である。

#### 5. 本事業で得た学生調査等の成果に関する学術的発信

検討中である。

#### 6. 日本における学校保健研修

9月8日(日)から9月15日(日)の期間（うち日本滞在期間は9日から15日）、東京学芸大学をはじめ、附属小金井小学校、附属国際中等学校、町田市立南中学校、座間市立相模中学校の訪問を含んだ日本研修を実施した。カンボジアの教員養成大学から11名（マネジメント・チーム2名、教官9名）が参加した。

参加者が、それぞれが事前に立てた研修の目的に沿って、最終日に成果を発表した。各教官のプレゼンテーションは以下のフォルダーにある。

[https://drive.google.com/drive/folders/1t1x0KkE4ZQIODEUhhk\\_2h13aQfjG2ba](https://drive.google.com/drive/folders/1t1x0KkE4ZQIODEUhhk_2h13aQfjG2ba)

Chhom Kunthy 先生は、日本の清潔・衛生習慣について、Hong Sovann 先生は学校の物理的な安全環境と応急処置について、Lam Bunmakara 先生は子供のメンタルヘルスについて、Pall Chamroen 先生は栄養教育と養護教諭の役割について、Mao Veasna 先生は中学生の障害と特別支援教育について、Srey Khivsokhom 先生は健康教育における教員の役割について、Hour Khim 先生は保健室の教員（養護教諭）と保健室の役割について、Leng Rachna 先生は日本の食べ物と栄養教育について、San Sreyry 先生は学校保健教員による保健室運営と健康教育について、それぞれ学んだこと、感想を報告した。全ての先生が、これらの成果をカンボジアの学校保健で生かし、実践するとの決意を述べていた。

オープニングセレモニー後の集合写真（1日目）



籠谷先生の小児保健の講義（2日目）



中学校の保健の授業参観



中学校での命の授業への参加



附属国際中等学校の保健室訪問





## 7. 東京学芸大学, カンボジア TEC 間で学生の短期交流 (スタディツアー)

2023 年度のスタディーツアーの公開報告会を 4 月 19 日(金)にハイブリッドで実施した。また、スタディーツアーにおける活動の様子はニュースレター 17 号に掲載している。

児童に手洗い指導を行うという学校保健分野での交流を行った BTEC の学生の感想を挙げておく。

- I think the activity that prepared by TGU Students was really important for children to learn about taking care of themselves and let them know how to clean their hands properly.
- I think this program is good and give me a lot of experiences, also it makes me have a good collaboration with other regions.
- The program provides me a good experience. I can have a good communication with Japanese students. Moreover, this program gives me an opportunity to learn about Japanese culture and we can learn a lot from each other.
- I think that this activity was good for me to have an experience with Japanese students, especially kids in primary school have a chance to learn about how to clean the hands correctly.
- It's a good opportunity for me to exchange knowledge, get experience, and make communication.
- Easy to understand and well prepared. That was such a good time and got new experience working with TGU Students.

2024 年度のスタディーツアーは 2025 年 3 月に実施する予定である。

## 8. HP や Newsletter による情報発信

カンボジア学校保健プロジェクトの HP を大学の国際課のサイトとリンクさせて公開した(<https://shcc.u-gakugei.ac.jp>)。

9 月までにニュースレター 17 号、18 号、19 号、20 号、特集号を発行した。これらのニュースレターはそれぞれ以下のドライブで見ることができる。

17 号：[https://drive.google.com/drive/folders/16d0k\\_uO4p3LQkgnNgw473WVQzeFrSSp7](https://drive.google.com/drive/folders/16d0k_uO4p3LQkgnNgw473WVQzeFrSSp7)

18 号：[https://drive.google.com/drive/folders/1QXW\\_eqLiNkhQcpjqDupUmqw95OrerTJV](https://drive.google.com/drive/folders/1QXW_eqLiNkhQcpjqDupUmqw95OrerTJV)

19 号：[https://drive.google.com/drive/folders/1VeyyTmwGtY\\_wfvvM2B6gl5SgD\\_vIxWw3](https://drive.google.com/drive/folders/1VeyyTmwGtY_wfvvM2B6gl5SgD_vIxWw3)

20 号：[https://drive.google.com/drive/folders/1Jt-6oOJ2QcCH-J\\_sVfvqcf4ecFgx4HVv](https://drive.google.com/drive/folders/1Jt-6oOJ2QcCH-J_sVfvqcf4ecFgx4HVv)

特集号：[https://drive.google.com/drive/folders/1\\_jgI7C3mXZDIk4lhZB7hPrUL-7blIFTS](https://drive.google.com/drive/folders/1_jgI7C3mXZDIk4lhZB7hPrUL-7blIFTS)

## 9. 国際学校保健セミナーの実施

松田徳子氏（JICA 教育政策アドバイザー、カンボジア在住）を講師に迎えて「全ての子供たちが「読み書き計算」のできる世界を作りたい」というタイトルでセミナーを7月30日(火)に開催した。セミナーの全体は <https://drive.google.com/drive/folders/1b7ZDjp5NPnDbOu9I5RDEtjWrMgJaOPvh> で見ることができる。

東京学芸大学卒業生の永田栞奈（株式会社 KMT）を講師に迎えて「1つの Tweet で未来を変える～大学での学びと進路選択について～」というタイトルでセミナーを7月31日(水)に開催した。セミナーの全体は [https://drive.google.com/drive/folders/1-4mDQ20SX\\_iz8sIMxj38M1\\_4DgE5A8\\_C](https://drive.google.com/drive/folders/1-4mDQ20SX_iz8sIMxj38M1_4DgE5A8_C) で見ることができる。

## 10. KIZUNA の学校保健事業のサポート

6月25日(火)から6月28日(金)の期間、朝倉と増子で KIZUNA がコッコン州で行っている学校保健のモデル事業のモニタリングに参加した。また、SHCC の教官メンバーである Ms. Lok Solinda、Ms. Chhom Kuthy、Ms. San Sreyry の3名も参加した。

SHCC のメンバーは、3地域に分かれて中学校を担当し、紙芝居を使った保健の授業を参観し、それぞれ評価と助言を行った。

## 11. TEC の学校保健に関わる専門的な見地からのサポート

Health room の運営に関する講義を齋藤千景教授（埼玉大学）が TEC 教官の学校保健日本研修で行い、日本の保健室の変遷を参考に、カンボジアでの保健室の在り方をディスカッションする機会を設けた。

第19回の学校保健研修（2024年10月16日、17日予定）では TEC の学校保健担当教官の研修に加えて、2日目のみ PTEC 附属小学校の学校保健担当教官並びに管理職等も研修に加えて合同で実施する。TEC は MoEYS から附属学校の学校保健とりわけ保健室運営においてモデル校となるべく指導するよう強く要請されている。そこで本プロジェクトでは TEC の学校保健に関わる専門的サポートの一環として、TEC はどのように附属小学校と連携して児童の健康課題への対応と保健室運営を実践すればよいのか、合同研修の機会を提供する予定である。ちなみに附属小学校の学校保健担当教員は、TEC の第1期卒業生で優秀な成績の者が指名されているとのことである。